

松岡静雄を語るモノたち

①松岡静雄の「奉職履歴」

ほうしょくりれき

記念館では、平成30年度に生誕140年を迎える柳田國男の弟・松岡静雄しずおに関する特別展を開催するため、資料調査をすすめています。そこで、記念館新聞でも、静雄の功績を物語る館蔵資料を取り上げ、紹介していきます。

第1回は、静雄が書き残した「奉職履歴」について紹介します。

「奉職履歴」は、海軍時代の静雄によって記された任務履歴や行動の記録です。明治28年(1895)から、大正8年(1919)までの記事が断続的につづられています。

静雄の乗船記録から、若き日の静雄の働きぶりのみならず、当時の海軍がどのように行動したのかすら、うかがい知ることのできる、貴重な歴史資料となっています。



今月の奉職履歴

今月号から、松岡静雄の「奉職履歴」について、その月にちなんだ内容を少しずつご紹介いたします。今月は静雄22歳のときの、9月の出来事です。

明治33年9月25日
「任海軍中尉」

西暦1900年の9月25日、軍艦「八雲」に乗った静雄は、中尉に任じられました。

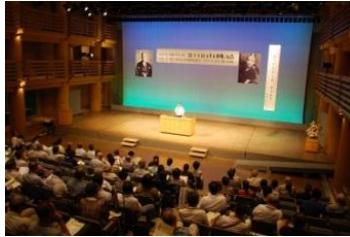


福崎町立
柳田國男・松岡家記念館
〒679-2204
神崎郡福崎町西田原
1038の12
電話：0790-22-1000

子どもふるさと展を 開催します

記念館では、今年も柳田國男ふるさと賞への作品を募集しました。ふるさと賞は、町内の小・中学生が地域の歴史や文化について関心を深めてもらうことを目的として、毎年夏休みに論文・レポートを募集する催しです。調べた作品を審査し、選ばれた作品へ賞が贈られます。

記念館では、10月7日(土)から11月26日(日)まで、優秀作品を展示しますので、ぜひおこください。



たくさんのご来場ありがとうございました

故郷七十年を 読む



名作著書紹介

法制局参事官となった柳田國男は、そこで見聞きした様々な話を『山の人生』にまとめました。柳田國男はそうした話を親しくしていた田山花袋や国木田独步へ伝えたため、國男の自宅は「あすこへ行きさえすればたねがある」ということで、文学

を志す若者たちが定期的に集うようになりました。月に2回ほど、土曜日に催していたので「土曜会」と称していました。

また、國男は海外の本を注文しておいて、手元に届くたびに土曜会の仲間たちに紹介していたようです。

第38回山桃忌シンポジウムでも話題に上りましたが、「土曜会」が「快樂亭の会」や「龍土会」へ発展し、後に様々な研究者を生み出す研究会の土台となっていたのです。



柳田國男・松岡家記念館

☆☆入館案内☆☆

☆開館時間
9時～16時30分
(入館は16時まで)

☆休館日
月曜日、祝日の翌日
12月28日～1月4日

☆入館料
無料



山桃忌を盛大に開催

8月5日(土)と8月6日(日)、第38回山桃忌をエルデホールで開催しました。山桃忌では毎年、柳田國男とその兄である井上通泰の祥月である8月に、二人の偉業を偲び様々な催しを行っています。

今年は1日目には「女性の中から見た柳田國男と民俗学」をテーマとして、傘踊りを皮切りに講演やシンポジウムを開きました。2日目には淡路人形座を招いて、国指定重要無形民俗文化財である淡路人形浄瑠璃の上演が、レクチャーを交えながら華やかに行われました。